

会議録

会議の名称	令和5年度第2回あま市放課後子ども教室のあり方研究会
開催日時	令和6年3月27日（水）午前10時から
開催場所	あま市役所 D会議室
内容	1 あいさつ 2 協議事項 (1) 令和5年度放課後子ども教室について (2) 令和6年度放課後子ども教室について 3 その他
会議資料	令和5年度放課後子ども教室について 令和5年度放課後子ども教室プログラム（資料1） 令和5年度放課後子ども教室活動記録（資料2） 令和5年度放課後子ども教室アンケート結果（資料3） 令和6年度放課後子ども教室について
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	井村なを子委員長、木全克己副委員長、横井三千代委員、中村伸二委員、谷川輝純委員、石塚麻美委員、川原史子委員、濱島玲子委員、入山てるみ委員、大西純滋委員
欠席委員	2人
事務局	（教育部）鎌倉崇志教育部長 （事務局）内山伸也生涯学習課長、濱嶋直樹生涯学習課主幹、 山田幹夫課長補佐、他担当職員5名
【会議の経過】	
濱嶋主幹	開会 事務確認
鎌倉教育部長	1 あいさつ
濱嶋主幹	委員、事務局紹介

井村委員長	それでは、2 協議事項（1）令和5年度放課後子ども教室について事務局より説明をお願いします。
事務局	<p>はい。事務局より令和5年度放課後子ども教室について説明をさせていただきます。資料3ページをお願いします。「項目1. 実施校等」についてご説明をいたします。こちらは先回、9月に開催された第1回放課後子ども教室のあり方研究会でご説明した内容と変更はございません。令和5年5月8日から令和6年2月26日の間で各校13回放課後子ども教室を開催しました。</p> <p>なお、先回もご説明しましたが学校数が11校となっておりますのは、七宝地区の宝小学校において、仮登録時に1名申込がありました。本登録で取消があり、未実施のためでございます。</p> <p>続きまして「項目2. 児童・スタッフ登録人数及び平均参加人数」ですが先回の資料より児童の登録人数の方が基目寺小学校で1名の追加登録がありましたので、最終的には186名の児童に参加登録をいただきました。</p> <p>「項目3. スタッフ内訳人数」においては前回と特段の変更はございません。「項目4. プログラム」でございます。資料の5ページ【資料1】をご覧ください。プログラムにつきましては児童に興味のありそうな、また、楽しんで貰えるような内容を各校のスタッフの皆さま方自らに考えていただきまして実施をいたしました。なお、資料の6ページ【資料2】の方に令和5年度放課後子ども教室活動記録として一部抜粋して写真の方で紹介をさせていただきました。また、左下にありますスノードーム作りにおきましては、美和東小学校で12月18日に行われた美和高校地域活動部の生徒さん6名と美和東小スタッフによるクリスマスに飾るスノードームと一緒に作りながら交流した内容が12月21日付の中日新聞朝刊に掲載されたところでもあります。</p> <p>「項目5. 七宝地区夏休み体験会兼交流会」でございます。先回もご説明させていただきましたが、今年度初めての試みとして七宝公民館2階講堂で七宝地区の放課後子ども教室のPRもかねて小学校夏季休業期間の7月28日、29日の2日間開催をいたしました。</p> <p>「項目6. 第7回あまのわ（市民活動祭2023）」でございます。10月21日（土）に美和文化会館で開催された第7回あまのわの方に放課後子ども教室紹介ブースを設置しました。主な内</p>

容はターゲットプレイシートを来場者のお子さんに体験していただきました。

「項目7. 親子ふれあいデー」でございます。2月10日(土)に美和文化会館で開催されました親子ふれあいデーの方にも放課後子ども教室紹介ブースを設置しました。主な内容はモルック体験と折り紙で作るおひなさまを来場者のお子さんに体験していただきました。

続きまして、資料7ページ【資料3】の令和5年度放課後子ども教室アンケート結果(児童)でございます。一部抜粋してご説明させていただきます。

問2の「参加した理由(複数回答可)」でございます。1位は「自分が参加したいと思ったから」で96名の児童から、2位は「友達が行くから」と62名の児童から、3位は「色々な体験活動ができそうだから」と47名の児童から回答をいただきました。こちらの結果については各校スタッフの皆さんによるプログラム内容を児童のために真剣に熟考していただいた賜物だと実感しています。

問3の「参加してどうでしたか」でございます。良かったとの回答が118名(73.8%)と普通の27名(16.9%)を合わせると145名(90.7%)となり児童の皆さんには内容等について満足していただいている結果となっております。

問4の「参加してよかった理由(複数回答可)」でございます。1位は「楽しかった」で122名の児童から、2位は「友達と遊べた」で118名の児童から、3位は「色々な工作ができた」で111名の児童から回答をいただきました。問2の参加した理由と共通して言えると思いますが参加している児童にとって友達と一緒に遊べることやプログラム内容の工作をととても楽しみにしている様子がこちらの結果でお判りになれるかと思えます。

続きまして資料8ページ(保護者)のアンケート結果となります。問2の「参加した理由(複数回答可)」でございます。1位は「子どもが自分の意志で参加したいと言ったから」で116名の保護者から、2位は「色々な体験活動ができそうだから」で97名の保護者から3位は「子どもが安心して遊べるから」で66名の保護者から回答をいただきました。

また、問3の「お子さんは楽しそうか」の問いについてですが

	<p>全ての保護者の方に「はい」と回答いただいております。また、問4の「参加してよかったか」についても「よかった」が134名（91.8%）と保護者の皆さまにも内容等について満足していただいている結果となっております。</p> <p>問5の「参加してよかった理由（複数回答可）」です。1位は「子どもが楽しそうだった」で133名（91.1%）の保護者から、2位は「色々な体験活動ができた」で119名（81.5%）の保護者から、3位は「子どもが安心して遊べた」で97名（66.4%）と保護者の皆さまから回答をいただきました。お迎えの際に児童が保護者の方に今日作った工作を嬉しそうに見せている光景を私も何度も見させていただいておりますが、こちらについても各校のスタッフさんのご尽力の賜物だと感じます。</p> <p>続きまして資料9ページ（スタッフ）のアンケート結果となります。問1の「参加した理由（複数回答可）」です。1位が「子どもが好きだから」で32名（72.7%）のスタッフから、2位は「子育て支援に興味があったから」で19名（43.2%）のスタッフから、3位は「子どもの笑顔が見たいから」と「ボランティアに興味があったから」が15名（34.1%）と同数の回答でした。総じて児童と接することやふれあうことが好きな方がボランティアとしてふるって参加してくださっている結果となっております。</p> <p>問5「参加してよかった理由（複数回答可）」です。1位が「子どもの笑顔を見ることができたから」で27名（61.4%）のスタッフから、2位は「地域の子供と関わることができたから」と「参加している子どもの成長を感じたから」24名（54.5%）と同数の回答でした。3位は「子どもが好きだから」21名（47.7%）のスタッフからの回答でした。こちらも問1の参加した理由と共通して児童と接することやふれあうことが好きなスタッフの方が参加して良かった理由に繋がっている結果となっております。</p> <p>ただいまの説明について、何かご質問やご意見がございましたらお願いします。</p> <p>アンケート結果（保護者）の8ページ「問4. 参加してよかったか」の良かったが118名、良くなかったが3名との結果であったが良くなかった理由とは、そこら辺が分かたら教えてください。</p>
委員長	
委員	

事務局	<p>具体的に理由についての記述が無かったので、推測になってはしまいますが回数や実施内容について満足いただけなかったのかなと感じております。</p>
委員	<p>「問3. お子さんは楽しそうか」で全員が楽しそうだと言っているのに、そのあとの問4で良くなかったという数字が出ていたものですから何でなのかなと。そこら辺が分からなかったものですから。また、分かったら教えてください。</p>
委員	<p>質問では無くて感想なのですけど。アンケート結果（児童）の7ページ「問4. 参加して良かった理由」の【学校が楽しくなった】が57名もいて素晴らしいなと思いました。放課後子ども教室だけでは無くて、学校生活全体にまで影響を及ぼしていて素晴らしい成果だなと感じました。</p>
委員長	<p>やっと少しずつですが浸透してきた結果ですよ。アンケートで良い数字が出てきて、私たちもやって良かったなという感想は受けました。少しずつ参加する児童も増えてきて、一年一年少しずつ実績が上がって来ていると私は感想を受けました。他に何か感想でも良いのでありませんか。</p>
委員	<p>それでは現場の方からスタッフを代表しまして、お知らせと報告ということでよろしいでしょうか。先程ですね、川原委員から学校が楽しくなったというところで、来ている子ども達に聞くと学校の授業の時は我慢している。放課後子ども教室のために、今日1日のエネルギーを貯めていたからと優先に考えている子どももいます。はい。います。当然一日のスケジュールのどこでエネルギーを使うかコントロールしているかと思えますけれども下級生なんかは授業をやってふらふらの中で来ていますので、この時間帯だと疲れてしまってあんまり出来ない子も中にはいます。7ページの問4のところでも5年生の子がですね。楽しかったに決まるとして、こんなもん聞くなと。楽しかった中身を下で書くのは分かるけどということで、そこら辺のところを頭に入れておいてください。それから、数字では読み取れないことが凄くあるのですが。年間のプログラムを見ていただきますと1回目からドッチボールとか色んなスポーツがございましてけれども、1年生の子が5月に来て、ドッチボールが全く投げられない子が、8月に夏休みスポーツ教室のドッチボール教室でやると少し</p>

	<p>投げられるようになっている。先週、ドッチボールの大会をやったのですが1年生と6年生と大変差があるので、硬式ボールの試合は出来ないだろうと思ったのですが、ところがどっこい、1年生の子も1年くらい経っているのもう投げたり受けてたりがばっちり出来て、急にリーグ戦を6試合やることが出来ました。やっぱり1年間の成長っていうのは凄い。スタッフもそれが楽しみで頑張っているのですが、問題が一番最後を見ていただきますと9ページのスタッフアンケート結果ですね。「問6. 来年度の協力」、できないが5人。まだ分からない13人。という状況があるものから。本当にこの辺のスタッフ不足がこれからの課題と感じます。皆さまの努力で着々と進んでいるのは分かるのですが、そういう形を見ていただきたいという事で、現場も倒れそうになりながらいつものように頑張っております。報告を終わります。</p>
<p>委員長</p>	<p>木全副委員長、現場サイドの貴重なご意見ありがとうございました。他にございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>先程の木全委員からのご報告でスタッフの皆さま方のおかげで子ども達がすごく楽しそうに参加しているのがよく分かりました。保護者の皆さまにも参加させて良かったなという意見が沢山ありますので、本当にもっともっと子ども達にも保護者の皆さまにも放課後子ども教室のことが広がっていくと良いなと。スタッフの方々にも、もちろん感謝の気持ちを伝えたいと思いますし、いや、スタッフをやって良かったよという事でもっと発信していただいて、やっていただける方を作っていただいて、そんな循環を作っていければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。他に無いようですので次の協議事項（2）の令和6年度放課後子ども教室についてに入りたいと思います。事務局の方から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和6年度放課後子ども教室についてご説明させていただきます。資料10ページ「項目1. 実施予定校等」ですが、今年度と同様に回数は年13回、5月から各校にて放課後子ども教室を開催する予定です。</p>

<p>委員長</p>	<p>次に「項目2. 仮申請児童人数（令和6年3月22日現在）」になります。七宝小学校で16名、伊福小学校で7名、秋竹小学校で8名、美和小学校で10名、正則小で11名、篠田小で6名、美和東小で13名、甚目寺小学校で36名、甚目寺南小で11名、甚目寺東小で13名、甚目寺西小で24名の合計155名の申し込みがある状況です。以上、説明を終わります。</p> <p>ただいまの説明で何かご質問やご意見などはありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>定員がね。一律50名になっていると思うのですが。各50名、参加費は児童1名3,000円となっている。正直な話、宝小学校学区の遠島地区で遠島公民館を主な活動場所として放課後子ども教室のある月曜日に老若男女交流「あそとも」というものを行っているのですが。正直言って月曜日にそれをやると20名から30名くらいの児童が来るのですよね。宝小の子どもも学校のかばんを背負って来ています。壊れた卓球台を直して卓球をやったり、ボードゲームをして楽しんでいます。50名幾らとか、いろいろとお金を貰っていると思うのですが。そういうものも少し何か子どもの人数によって少し考えたらどうなのかなと思うのだけれども。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、定員についての見直しという意見が出ましたけれども、令和6年度での変更という事は出来ないのですけれども、例えば令和7年度に向けてという事でお話させていただきます。1月9日現在の数字にはなりますけれども今、市内で一番大きな小学校が甚目寺南小学校の775名という事で、今の定員を775で除しますと6.45という大体の数字が出て参ります。その6.45を各校の児童数に割り当てますと例えば七宝小学校であれば30名、宝小学校であれば10名というような児童数に応じた定員の配置という事が出来ないか、あくまで試算の段階ではございますが考えているところであります。ただ、宝小学校のように元々の児童数が少ない学校については定員に下限20名という設定を設けまして運用出来ないか考えているところでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>宝小学区は遠島地区と沖之島地区から児童が来ているのですが遠島は先程の遠島公民館の方にみんな行っている。また、沖之島は農家さんが多いのでお祖父さん・お祖母さん達</p>

<p>濱嶋主幹</p>	<p>がお孫さんの面倒をみているので0でもしょうがないとは思いますが何か他に考える必要があるかなと思って。</p> <p>遠島公民館でやられているコミュニティの方は参加費を取るのでですか。0円なのでしょう。前回のあり方研究会で委員の皆さまからのご意見で参加費の見直しがあったと思うのですが、色々和我々も検討して考えたのですが、やはり今の1人3,000円というのは令和6年度はそのままという結論で実施していくのですが、今の子ども教室の方に申込が来ない要因が参加費にあるのか内容的なことなのか分からない部分ではありますけれども、0円が魅力という事で、少なからずとも参加費が影響するのではないかという事はありますので引き続き参加費についても検討を続けていかなければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>地域によって、需要があるか無いかなのですけど。子ども達の居場所が無いから作ろうって事業だと思いますので、宝小学校区の中では地域の中でそういった事業をやらなくても、ちゃんと地域の中で場が成り立っているのであれば無理にする必要がないような気がするのですが。ただ、事業として全部の小学校で同じ事をやっていかなければならないものでしたらそこは難しいかも知れませんが、地域の中で子ども達に貢献出来る場があって満たされているのであれば、そこは良い地域ですねと言う事でいけないのでしょうか。</p>
<p>内山課長</p>	<p>今、川原委員の方からおっしゃられたと思うのですが放課後子ども教室事業という事で参加していただければそれに越した事はないと思うのですが、おっしゃられたように地域で子ども達を見ていく、見ていただくって事も1つの方向性としては、そのものだと思います。地域でそういった受け皿、参加する場があるのであればそれはそれで、地域で子ども達を育てていく、そういった方向でも良いのかなと私は思っております。</p> <p>今、あま市でもコミュニティが出来つつあります。遠島地区についてはコミュニティがしっかりしてきているのかなと思います。また、上萱津の方でもコミュニティで子ども達を地元で見ようという動きも活発に今年度辺りからなっています。そちらでも子ども達を見ていただけるのであれば、施策の取組とすれば良いのかなと私は思っております。ただ、事務</p>

	<p>局としても色々と考えたり、検討していかなければならない点もあるかと思しますので人数の上限等、またご意見をいただければありがたいと思っております。本来、この放課後子ども教室というのは地元で遊び場がない子どもが、放課後子ども教室に参加していただいているのかなと思っておりますので、地元でそういった受け皿があるのであれば、それはそれに越した事は無いのかなと思っておりますので、またご意見をいただければありがたいなと思っておりますのでよろしくお願い致します。ありがとうございました。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいですか。それでは協議事項（２）の令和６年度放課後子ども教室については終わらせていただきます。次に３．その他に移らせていただきますが、事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特にございません。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、以上をもちまして第２回あま市放課後子ども教室のあり方研究会を閉会いたします。本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>